

第 48 回 薬用植物園公開講座と見学会

公開講座

「世界のカタクリ」

前・北里大学薬学部附属薬用植物園 福田達男 先生

皆さんご存知の片栗粉の由来でもあり、肌寒い早春の時期にゆっくりと花を咲かせ、一瞬にして儚く散ってしまうカタクリ。今回、日本のほか、世界各地に咲くカタクリについて、貴重な写真を交えてお話をいただきました。



「ユリ科の薬用植物」東京薬科大学 三宅克典 先生

ユリ科には毒を持つ植物があることや、ユリ科植物の分類が学問の進歩によって変化してきたことについてお話をいただきました。

また、「**美しいものには毒がある**」…人を死に至らしめる毒を持つ反面、美しく魅了する植物の数々をご紹介いただきました。



植物園見学

この日を待っていたかのような初夏の晴れ晴れとした天気の下で、見学会を行うことができました。皆さん目を輝かせながら、植物の不思議について先生や案内の学生さんたちに質問されていました。



熱心に植物に興味を持ち、植物と真正面から向き合っている見学者の方々の姿は、とても生き生きとしていました。カタクリの花を見られる時期ではありませんでしたが、植物園では、講座で学んだ様々なユリ科の植物を実際に見ることができ、より深くその植物のことを知る機会となりました。



カタクリ

体験コーナー

も設けられており、毎年恒例の木の皮剥ぎが企画されていました。今回はホオノキとコナラが用意されていましたが、どちらかというとホオノキが剥ぎやすかったようです。皮がむけたときは爽快な気分になりました！上手な方は皮を切らないようにつなげたまま、剥ぐことに挑戦していました。なかには、途中で失敗して悔しがる人もいましたが、とてもよい経験になったようです。



次回（第 49 回薬用植物園公開講座と見学会）は 9 月 22 日（土）を予定しております。詳しくは、本学のホームページをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしております！